

## 第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

	第1期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容 (平成27年度～令和元年度)	達成度 ①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	第2期計画 での予定 ①継続する ②継続しない ③検討中	今後の課題
	事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性				
生涯における子どものスポーツ活動の推進 （一）子どものスポーツ活動の推進	小中学校運動部活動等の充実	幼児期からスポーツに親しむことは、子供たちの体力・運動能力の向上を図ることともに生涯を通じて、楽しみながらスポーツに取り組む意識づくりや、運動習慣の確立につながります。このため、家庭、学校、地域、各種スポーツ団体等が連携し、子供たちの発達段階に応じたスポーツ活動の場の提供と、スポーツ環境の整備・充実に取り組んでいかなければなりません。	小中学校における体育授業や運動部活動は、児童生徒のスポーツへの興味付けを図るうえで重要です。なかでも、小中学校における運動部活動については、子どもたちの心身の成長を促すだけでなく、友情を深めるなどの好ましい人間関係を育てる環境として部活動の推進を行っていかなければなりません。このようななか、県内の小学校運動部活動のあり方について「実施可能な地域、学校、種目から、現行の学校体育から社会体育へ移行。」の提言がなされ、熊本県でも「小学校の運動部活動を社会体育へ移行する」との基本方針が出されました。今後、本町でも学校・保護者・教育行政等の関係者を交えながら、「望ましい子どもたちのスポーツ環境の整備」といった視点で、社会体育への移行に取り組んでいかなければなりません。	◇小学校における運動部活動の社会体育への移行に関する取り組み →平成28年度から小学校部活動の社会体育へ移行 NPO法人長洲にこにこクラブ 〔総合型地域スポーツクラブ〕(16種目18教室194名) 【良かった点等】 <ul style="list-style-type: none"><li>保護者要望等の把握</li><li>関係者間の共通理解・意思統一</li><li>保護者への説明・理解</li><li>複数種目への参加</li><li>教師の負担軽減</li><li>世代間及び他校生との交流</li></ul> 【反省点等】 <ul style="list-style-type: none"><li>指導者不足</li><li>放課後空白時間問題</li><li>送迎問題</li><li>活動時間帯</li><li>費用負担</li><li>参加者減少</li><li>子どもスポーツ計画未策定</li></ul>	③	①	・部活動が社会体育（にこにこクラブ）に移行されたが、より多くのプログラムを取り入れ、多くの子どもたちのスポーツ環境の向上及び充実を目指すには主として下記の問題がある。 ☆指導者不足 ☆放課後から社会体育での活動時間までの空白時間をどうするか? ☆送迎問題 ☆活動時間帯 ☆費用負担（受益者負担の原則）の理解 ☆参加者を増やす方策 ☆子どもスポーツ計画未策定等 町体育協会等が関わる人材をNPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）に紹介し、地域の指導者等が活動に参画できるような環境づくりが必要である。現在も小学生においては、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）で活動されている場合には子供たちや参加者間で非常に良い人間関係が構築されるのを感じている。学校の部活動から、地域部活動として今後も取り組む必要がある。
	トップアスリートによる夢の教室		オリンピック・世界大会への出場選手など、高い技能・実績を有するサッカー・水泳等の各種トップアスリートを招き、子どもたちが生の体験談を直に聞き・目にすることができる「夢の教室」事業等により、トップアスリートと子どもによる語らいの夢づくりに取り組みます。	◇トップアスリートによる「夢の教室」事業等の開催 学校教育課において「夢の教室」（対象を小5、中2として夢を持つことの大切さやフェアプレー精神、仲間と協力することの大切さなどを講義と実技を通じて子どもたちに伝える）として確立されている。 【反省点等】 「夢の教室」のみとするのか他団体開催のトップアスリート教室等も「等」として該当させては	④	③	学校教育課において「夢の教室」（対象を小5、中2として夢を持つことの大切さやフェアプレー精神、仲間と協力することの大切さなどを講義と実技を通じて子どもたちに伝え）として確立されている。活動の名称では「夢の教室」と限定されているが今後の方針等での「夢の教室」事業等として他団体のトップアスリート教室も該当させる
	子ども子育てスポーツ活動の充実		幼児・児童のスポーツ活動を通した健全で・健やかな身体づくりとして、六栄保育所における運動教室の実践や、保育への運動プログラム導入による運動能力の向上を目指し、子ども子育て支援の拡充を図ります。	◇スポーツプログラムによる子ども子育て支援の拡充 〔NPO法人長洲にこにこクラブ〕 六栄保育所において運動教室を開催(R1.1.12終了) 小学校水泳教室(2回202名) 放課後子どもプログラム(8回177名) 〔子育て支援課・社協事業〕 ミニ運動会、はいはいよちよち大会(183名)	②	①	・子育て支援センター等との連携強化によるプログラムの見直しや新プログラムの導入 ・幼児版ACP（アクティブチャイルドプログラム）の導入及び普及
	子どもたちがスポーツに親しむ機会の充実		子ども会運動会や球技大会、地元スポーツ少年団体によるスポーツ活動など、子どもたちのスポーツ活動への参加をより促し、子どもたちがいろんなスポーツ活動に参加しやすい環境整備として、各種スポーツ大会等のスポーツに親しむ場・機会を拡充します。	◇子ども会スポーツ大会の開催支援 運動会、ビーチボールバレー大会、ソフトボール大会、ティーボール大会※、駅伝大会(730名) ※ティーボール大会はウォークラリー大会に	②	①	・指導者の発掘や育成等のシステム構築や町児童福祉担当課や学校、子ども会との連携による「子どもスポーツ推進計画」等の策定等 ・ACP（アクティブチャイルドプログラム）と総合運動教室の実施 ・種目やプログラムの充実
	各種スポーツ教室の開催		子どもたちの心身の健全な発達を目指し、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）や指定管理者による多彩な運動教室を開催し、子どもたちがいろんなスポーツに出会い・スポーツを始める機会を提供します。また、ジュニア世代の選手の育成・競技力の向上を目指して活動している、地元スポーツ少年団体に対する活動支援に努めます。	◇子ども向け各種スポーツ教室の開催支援 〔にこにこクラブ〕通常教室(14種目17教室) 〔指定管理者〕水泳教室(1種目2教室) ◇海洋性スポーツの振興 〔指定管理者・九看大等〕海洋教室 【良かった点等】 教室、イベントが増え運動・スポーツに親しむ機会の増加が図られた。 行政主導から民間主導への意識転換の高揚、受益者負担の意識付け 【反省点等】 指導者不足 関係団体の連携	②	①	・指導者の発掘や育成などのシステム構築や町児童福祉担当課や学校、子ども会との連携による「子どもスポーツ推進計画」等の策定等 ・ACP（アクティブチャイルドプログラム）と総合運動教室の実施 ・種目やプログラムの充実 ・スポーツ活動に参加していない子どもたちをどのようにしてスポーツに興味を持たせ、スポーツ活動へと導くか

## 第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

	第1期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
	事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性				
生涯におけるスポーツ活動の推進 （2）成人スポーツの推進	魅力あるスポーツ大会・イベント等の開催	今日、多様化している住民のスポーツニーズに対応し、生涯にわたって一人ひとりがいつでも、どこでも、気軽にスポーツを親しむことができる、生涯スポーツの推進を図るために環境整備がますます重要となっています。このため、住民が生涯にわたり興味や目的に応じて、身近にスポーツに親しむことができるようニーズに合った様々なスポーツ活動の場を提供し、成人スポーツの推進を図ります。	町民体育祭、町駅伝大会など町主催の各種スポーツ大会のより一層の振興に向け、住民、各種関係団体、参加者のニーズに即したプログラムの見直しを行い、魅力あるスポーツ大会の開催により、住民、参加者が喜べるスポーツ大会等の開催を図ります。	◇魅力ある各種スポーツ大会等の開催 ・町事業 町民体育祭等(4大会2,875名) ・町体協 長洲マラソン大会等8大会 ・にこにこスポーツフェスタ(1000名)、史跡巡りウォーキング等 【良かった点等】町民の親睦・融和及びスポーツの振興が図られた。 【反省点等】・事業のマンネリ化、開催を含めたイベントの見直し等 ・他の年代と比べ成人のスポーツ実施率が低い	②	①	事業等のマンネリ化が予想されることから事業の開催を含めたところでの事業の見直し新規事業等の導入を検討する必要がある。
	地域住民、地元企業によるスポーツ行事への支援		住民の誰もが気軽に参加できる地元での体育祭、ウォーキング大会、グラウンドゴルフ大会など、地元住民の親睦・融和、コミュニティーブルーバーとして、地域で行われているスポーツ大会の開催を支援します。また、地元企業におけるスポーツ行事の開催も支援します。	◇地域におけるスポーツ行事の開催支援 ・腹赤区民球技大会 ・腹赤区民体育祭 長年多数の参加があり区民で自主運営されている。	③	①	身近なところ（各区等）で、どのようなイベントが組まれているのかの把握が必要である。（スポーツ行事の重複をなくす）
	スポーツ出前講座の開催やスポーツ用具の貸出し		ニュースポーツの紹介・体験、スポーツの出前講座や地域・団体へのスポーツ用具の貸出しを図り、気軽に住民がスポーツ活動ができる環境整備を図ります。	◇スポーツ出前講座の開催 ・にこにこ（ペタンク出前講座→大明神区・立野区） ◇スポーツ用具の貸出し（貸出し用具） 輪投げ(輪100、台15)ドッジビー(12)ベース(野球3ソフト1ダブル4) ペタンク(7) グラウンドゴルフ(8H×3)同スティック(6本×16組)	③	①	・スポ推等での出前講座が少なく、他団体等と合同でできないか？ ・ニュースポーツ等について勉強会や情報交換等が行われているか？
	スポーツ大会等への民間の力の活用		これまで行政主導で行ってきたスポーツ大会やスポーツ教室など各種スポーツ事業の推進について、長洲町体育協会、長洲町スポーツ推進委員、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）、指定管理者など民間の力の活用により、行政と連携しながらさらに魅力的で効率的なスポーツ事業の推進を図ります。	◇民間による魅力あるスポーツ大会や各種スポーツ教室の開催 ・にこにこスポーツフェスタ（NPO法人長洲にこにこクラブ） ・町長杯サッカー大会含む8大会（各町体協等） 【良かった点等】 ・町民の親睦・融和及びスポーツの振興が図られた。 ・にこにこスポーツフェスタが盛んになり、参加者も多様化している。 【反省点等】 ・事業のマンネリ化、開催を含めたイベントの見直し等 ・他の年代と比べ成人のスポーツ実施率が比較的低い	②	①	・各種大会や教室を開催している各種団体等の組織の充実及び活性化が必要である。 ・体育協会自体の研修会や指定管理者やNPO法人長洲にこにこクラブ等との関係強化等の必要がある。（にこにこクラブに任せきりではなく、お互いの弱点をカバーできるような体制づくりが必要） また、スポ推の体協事業への協力体制の構築も必要である。

## 第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

	第1期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題	
	事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性					
生涯におけるスポーツ活動の推進  (3) 高齢者スポーツの推進	各種高齢者のスポーツ大会等の開催支援	高齢化が進むなか、運動やスポーツ活動を通した高齢者の健康づくり・生きがいづくり・仲間づくりは、高齢者自身や地域社会にとっても、より一層その重要性を増してきています。食生活の向上や医療技術等の進歩により平均寿命が延びている一方、加齢による体力の衰えが気になる高齢者においては、健康づくり・体力づくりに対する関心が高まっており、これらに対する取り組みの充実が望まれています。このため、高齢者の体力や運動能力に合わせたスポーツ・運動教室等への参加を通じて、「元気な高齢者」が増えしていくように取り組んでいかなければなりません。	高齢者間の親睦・融和・交流や健康づくり・体力づくり等を目的として開催されている老人クラブ連合会体育祭、各種グラウンドゴルフ大会など、各種高齢者のスポーツ大会の開催・支援を行っています。	◇各種高齢者のスポーツ大会等の開催支援 ・老連グラウンドゴルフ大会、社協会長杯グラウンドゴルフ大会（228人） ・クリーンウォーク（63人）	②	①	①継続する ②継続しない ③検討中	・町福祉保健介護課や社会福祉協議会、老人クラブ連合会等との連携強化が必要となる。また、スポーツの体協事業への協力体制の構築も必要である。 ・体力状況の把握(体力測定等の実施)を行い介護予防へつなげていく必要がある
	介護予防・元気づくり事業の推進		高齢期になっても自立した生活が可能な限りできるよう、またいきいきと毎日を過ごせるように、65歳以上の高齢者の介護予防を目的として、高齢者の体力向上につながる軽体操、脳を活性化させる運動プログラムなど、介護予防・元気づくり事業に取り組みます。	◇介護予防・元気づくり事業の推進 ・にこにこスポーツフェスタ(体組成計使用骨密度測定、脳年齢検査、運動プログラムの紹介) ・社協事業（元気アップリーダー養成講座、同フォローアップ講座、介護予防リーダー養成） ・げんきの館事業・介護予防拠点施設での健康教室等開催 [良かった点等] ・にこにこスポーツフェスタでの体組成計測定等は好評である。 ・介護予防拠点施設での健康教室等が定着してきつつある。	②	①	①	・町福祉保健介護課や社会福祉協議会、老人クラブ連合会等との連携強化が必要となる。 また、スポーツの体協事業への協力体制の構築も必要である。 ・体力状況の把握(体力測定等の実施)を行い介護予防へつなげていく必要がある
	健康・体力づくりへの働きかけ		高齢者が、健康でいきいきといつまでも地域で生活できるように、健康づくり・体力づくりに対する意識づくりを図るとともに、健康診断の受診率向上に努めます。また、「健康ながす21」に基づく高齢者の健康相談事業の拡充を図ります。併せて、健康・体力づくりを継続させるためのきっかけづくりや目標として体力テスト等に取り組みます。	◇健康に関する講座の開催 ・社協事業（元気アップリーダー養成講座、同フォローアップ講座、介護予防リーダー養成講座） ◇体力テスト等による健康意識づくり ・にこにこスポーツフェスタでの健康プログラムの紹介及び体力テストの実施	③	①	①	・町福祉保健介護課や社会福祉協議会、老人クラブ連合会等との連携強化が必要となる。 また、町スポーツ推進委員協議会の町体育協会事業への協力体制も必要である。 ・体力状況の把握(体力測定等の実施)を行い介護予防へつなげていく必要がある
	公民館（介護予防拠点施設）での手軽な健康教室への参加奨励		高齢者が、長年住み慣れた地域で元気にいきいきと暮らせるように、身近な施設である地区公民館（介護予防拠点施設）を会場に気軽に参加できる運動教室の開催・参加奨励を図ります。	◇地区公民館（介護予防拠点施設）での運動教室の開催・参加奨励 ・健康体操教室（指定管理者、NPO法人長洲にこにこ） ・げんきアップ教室（36区206回2,422人） ・元気はつらつ地域学習講座（生学）	②	①	①	・地区公民館等で体操教室等行っているが、定着してきたものについては、教室ではなくクラブとして活動をしてもらい自立へと促す。 ・体力状況の把握(体力測定等の実施)を行い介護予防へつなげていく必要がある
	高齢者のスポーツ教室等の開催		スポーツや運動を通じての高齢者の健康づくり・体力づくりのため、NPO法人長洲にこにこクラブ（総合型地域スポーツクラブ）や指定管理者と連携しながら、高齢者が気軽に参加できるスポーツ教室の開催を図ります。	◇各種高齢者のスポーツ教室等の開催 [指定管理者] ・笑顔グラウンドゴルフ教室、笑顔ビーチ教室、介護予防体操教室 [NPO法人長洲にこにこクラブ] ・卓球教室、にこにこ運動、硬式テニス教室、健美操等	②	①	①	体力状況の把握(体力測定等の実施)を行うことで各々の必要とされる機能等を平均の値まで近づける方法や教室の紹介等を行い、介護予防へつなげていく必要がある。

## 第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

	第1期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題
	事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性				
生涯におけるスポーツ活動の推進  (4) 障がい者スポーツ	ユニバーサルデザインの推進	ノーマライゼーションの理念のもと、障がい者のスポーツ振興は、身体の機能回復の手段として福祉の観点にとどまらず、障害の種類・程度や体力等に合わせてスポーツに親しんだり、自己能力の開発等を目指したり、充実感が実感できるような日常的にスポーツを行うことができる環境づくりが重要です。そのため、障がい者のスポーツ活動を支える人材の確保を図るとともに、障がい者団体と連携した障がい者スポーツ大会、講習会の開催、施設のバリアフリー化など、障がい者がスポーツ活動のしやすい環境づくりを進めます。	町スポーツ施設について、障がいのある人もない人にも優しく誰もが利用しやすい施設として、スポーツ施設のユニバーサルデザインの推進に取り組みます。	◇スポーツ施設のユニバーサルデザインの推進 ・体育館からトレーニング室間の「すのこ」を変え車いすの利用がしやすくなった。 ・室内温水プールについては、車いすの方も利用しやすい構造である。	④	①	各施設において、すべての人が利用するにあたり利用しやすい施設にできるよう、各年代等さまざまな団体利用者からの声を聞く機会等を持つ（利用者アンケートの実施等）
	障がい者のスポーツ活動の支援		障がいの方を対象とした県・郡主催のスポーツ大会等への参加を支援します。また、町民体育祭等の町主催のスポーツ行事への障がいの方方が参加しやすい機会拡充に努めます。併せて、スポーツ活動参加時の障がいの方の支援体制の拡充として、ボランティア体制の整備に努めます。	◇各種スポーツ・レクリエーション活動への支援 ・障がい者スポーツ交流事業指導者研修会（にこにこ） ・指導者会で障がい者スポーツについての研修会開催（にこにこ） 【良かった点等】 研修会等で障がい者スポーツに協力していただける人の把握ができた。 【反省点等】 関係機関等と連携強化し、町の現状、実態を把握しスポーツ交流事業等の推進を図り指導者やサポーター等の発掘育成を図る必要がある。	③	①	町民体育祭等での障がいの方も含めたところでの参加できるようなプログラムの見直しが必要である。
	障がい者スポーツ教室の開催		県障がい者スポーツ協会など関係機関の協力を得ながら、障がいの方方が参加できるスポーツ教室の開催を図ります。	◇各種障がい者スポーツ教室の開催 ・指定管理者、町マリンスポーツ指導者会と協力して障がいの方を対象とした教室を開催。	③	①	関係団体（町身障協、NPO法人長洲にこにこクラブ、指定管理者）との体制づくり及びボランティアの発掘や育成
	障がい者の関係機関との連携		障がいの方のスポーツ活動を促進するため、長洲町社会福祉協議会、長洲町身体障害者福祉協議会等の関係機関や団体との連携を図ります。	◇障がい者の関係機関・団体との連携 ・にこにこクラブと町身障協で出前講座の話を行ったことで、にこにこの活動を知ってもらうきっかけとなつた。また、行事等で出店の協力をお願いしている。	③	①	現在、にこにこクラブや指定管理者等でスポーツ教室等を行っているが、その中でも誰でもが参加できるような体制づくり及びボランティアの発掘や育成
	ユニバーサルスポーツの推進		障がいの有無に関係なく、子供から高齢者まで、気軽に取り組めるユニバーサルスポーツの推進について、関係機関と連携しながら障がい者と健常者との交流機会の拡充に努めます。	◇ユニバーサルスポーツの推進 町民体育祭の中で身障協種目を2種目設定している。 【良かった点等】 町民体育祭の身障協種目での参加であるが町民の交流の場となっている。	④	①	町民体育祭や各種スポーツ大会等においても誰でもが参加できるようなプログラムの作成及び携われるボランティア及びスタッフの発掘及び育成

## 第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

	第1期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題	
	事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性					
(一) NPO法人長洲にこにこクラブ(総合型地域スポーツクラブ)の育成・支援	クラブ活動の周知	総合型地域スポーツクラブは、平成26年6月現在、県内で65クラブ(14市20町6村)が活動しています。本町では、平成20年6月、総合型地域スポーツクラブとして「長洲にこにこクラブ」が設立されました。平成26年度会員数138名。9つの定期種目と3つの特別教室を開催。その他、町保育所運動教室の委託事業等に取り組んでいます。設立から7年目を迎え、住民アンケート調査によれば、「クラブのことを知らない」と6割の方が回答し、クラブ活動についての理解や普及啓発が課題といえます。その一方で、少子高齢化の進行、住民の運動不足、長洲町体育協会会員の減少、小学校運動部活動の社会体育への移行などスポーツにおける地域課題がクローズアップするなか、住民参加型の自主的スポーツ団体である総合型地域スポーツクラブへの役割・期待が大きくなっています。平成27年2月末、長洲にこにこクラブが法人化されたことを機に本町では、これらスポーツ活動の諸課題に対して、NPO法人長洲にこにこクラブ(総合型地域スポーツクラブ)を位置づけし、町と連携しながら地域スポーツの推進に向け、同クラブの育成・支援に取り組みます。	住民スポーツアンケート調査の結果から、クラブの認知度を高める必要があります。このため、各種事業の開催など、さまざまな機会を活用しながらクラブ活動の周知を進め、会員やクラブ活動等の拡大を支援します。	◇クラブ活動の周知 ・定期的な募集活動時期のPR活動・学校へのチラシ配布 ・会員募集チラシ配布・FB等を利用した配信 ・町広報活用・各種報道活用*各団体へのPR活動 【反省点等】 ・PR不足・にこにこだよりが最近発行されていない。	②	①	①継続する ②継続しない ③検討中	小学校への水泳教室指導等を行っているが、それらの実績をもとにPR活動を行う。また、会員の獲得及びクラブ活動の拡大を図るために町体育協会、指定管理者及び町スポーツ推進委員協議会等との連携協働及びPR並びに周知を行う必要がある。
	クラブ運営体の育成・拡充		クラブにおける活動の継続性、透明性を高め、地域のスポーツ活動の推進という公益活動に一層貢献できるよう、安定的な財源確保や組織作りに対する取り組みを支援します。	◇クラブの安定した財源確保への支援 ・財源確保策として六栄保育所運動教室、指定管理者事業共同体、介護予防運動教室実施 ◇クラブの安定した組織作りへの支援 ・独自での先進地視察及び各種研修会への参加	②	①	・財源確保としての受託教室等は必要があるが安定財源として会員の確保を行うために各種団体や地元企業並びに町外の団体等にもPR活動が必要である。 ・成人的スポーツ活動を促す方策を考える。	
	クラブ運営体の育成・拡充		子どもから高齢者まで幅広い人々が、定期的・継続的にスポーツを楽しむことができるために、多様な種目を体験できるスポーツ教室の開催を支援します。	◇多彩なスポーツ教室の開催支援 ・トップアスリート事業の開催 サッカー、ロアッソサッカー、ヴォルターズ・鶴屋(バスケ)、ルネサス(バドミントン)、卓球、陸上等 通常教室(スポーツ・文化19教室)、新規教室も開催予定	②	①	・クラブ活動の充実により、教室は多種多様となってきているが、町体育協会、指定管理者及び町スポーツ推進委員協議会等との連携協働が必要である。 ・成人的スポーツ活動を促す方策を考える。	
	地域におけるスポーツの活性化		少子高齢化、住民の運動不足、長洲町体育協会の会員減少、小学校運動部活動の社会体育への移行等の諸課題に対し、NPO法人長洲にこにこクラブ(総合型地域スポーツクラブ)を有効なスポーツ活動組織として位置づけ、組織整備や業務に対する支援を行なながら、町と連携のもと地域におけるスポーツ活動の活性化に取り組みます。	◇子どものスポーツ活動への支援 ◇小中学校におけるスポーツ活動への支援 ◇高齢者のスポーツ活動への支援 ◇町民のスポーツ活動への支援 ◇町のスポーツ活動・行事への支援 ・長洲にこにこスポーツフェスタ ・町スポーツ団体情報交換会開催 ・小学校水泳授業サポート ・学童保育、放課後子ども教室運動プログラム指導 ・各区の運動教室指導 【良かった点等】 他団体の協力によりスポーツフェスタのプログラムと参加者が増えた。 小学校運動教室のサポート事業が増加傾向である。 【反省点等】幼児～高齢者までの教室はあるが偏りがある。	②	①	・クラブ活動の充実により、教室は多種多様となってきているが、町体育協会、指定管理者及び町スポーツ推進委員協議会等との連携協働が必要である。 ・成人的スポーツ活動を促す方策を考える。 また、スポーツに触れるこのない人たちへのアプローチや周知が必要 ・小学校運動教室のサポート事業が増加傾向であるため、充実を図る	
(二) スポーツ指導者、ボランティアの育成・確保	スポーツ指導者の養成	住民の多様化するスポーツニーズに対応した生涯スポーツの定着や、健康づくりを推進するため、スポーツや運動に関する技術をはじめとして、多様なスポーツの楽しみ方などの指導・助言など、子どもから高齢者まで幅広い人々に対応できる指導者の育成・確保に努めます。	長洲町体育協会、長洲町スポーツ推進委員等の関係団体と連携し、地域のスポーツ指導者をはじめスポーツ団体を対象に、新しいスポーツに関する情報や専門的な知識・技能を身につけるための研修会・講習会への参加を通じてスポーツ指導者の養成を図ります。	◇スポーツ指導者の研修会・講習会の開催 にこにこクラブによる「研修会等への派遣」、「障がい者スポーツ交流研修会」等の開催	③	①	・NPO法人長洲にこにこクラブのみではなくそれぞれの団体の課題等を相互協力を行うことにより問題解決や活性化できるような方向性で推進する必要がある。 ・NPO法人長洲にこにこクラブと町体育協会の相互協力及び理解 ・指導者等の発掘及び育成	
	長洲町スポーツ推進委員の資質向上	また、長洲町体育協会や長洲町スポーツ推進委員等の関係団体と連携を図り、広く住民に対してスポーツボランティアの参加を呼びかけ、スポーツ時の指導、各種スポーツ大会の運営スタッフなど、各種スポーツ活動に応じた人材を適時適切に派遣できる体制づくりを目指します。	町スポーツ推進の中核的役割を担っている長洲町スポーツ推進委員の資質向上と技能取得を図るため、各種研修会等への参加を図るとともに、スポーツ・福祉・教育等など各種の有資格を有する優れた人材のスポーツ推進委員への登用に努めます。	◇各種研修会等への参加支援 県等の研修会への参加支援	②	①	・スポーツ推進委員の役割の中でも地域と行政等とのコーディネーターとしての重要性の確認を行い、にこにことの合同研修等により資質向上及び技能の獲得を行い出前講座等の充実を図る。 ・スポーツ版人材バンクの構築(にこにこ、指定管理、体協、スプロ)	
	専門的知識等を有する指導者の発掘・確保	選手や指導者として経験、実績、専門知識等を持ちながら、現にスポーツ指導活動に係っていない人材の発掘・確保に努めます。			③	①	スポーツ版人材バンクの構築(にこにこ、指定管理、体協、スプロ)	
	スポーツボランティアの確保	各種スポーツ活動時におけるスポーツ指導者としての人材や、各種スポーツ大会の運営時のスタッフ要員として協力できる方など、住民参加によるスポーツボランティアの確保を図ります。	◇住民参加によるスポーツボランティアの確保 ・艇庫使用団体九州看護福祉大学カッター部による普及大会及び講習会等へのボランティア参加 【反省点等】 町(秘書室管理)の人材バンクとのリンク		③	①	スポーツ版人材バンクの構築(にこにこ、指定管理、体協、スプロ)	

## 第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

	第1期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題	
	事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性					
スポーツ活動の支援体制の充実	(3) 競技力向上のための支援	全国大会等の各種競技大会参加への支援  優秀なスポーツ選手等の表彰  各種競技大会等の開催・支援	全国大会等で活躍する地元のトップアスリートの姿は、見る人に感動や希望を与えます。このため本町の競技力向上を目指し、各種大会で活躍するトップアスリートの育成・活動を支援します。また、スポーツ活動に励んでいる人を支援・表彰することで、競技者の意欲を高め、競技力の向上を図ります。	県内外で開催される各種競技大会において優秀な成績をおさめ、九州大会や全国大会等に出場する選手・団体に対する奨励金の交付による支援を行います。	◇全国大会等への出場の支援 ・全国大会等奨励金制度 ・玉名郡民体育祭等への補助金及び強化費の交付	②	①	表彰該当者の情報収集方法の構築
				◇優秀なスポーツ選手、団体等の表彰 ・全国大会入賞及び県大会優勝等表彰 (町民体育祭や町式典等) 【反省点等】 県大会優勝者の表彰はあるが九州大会の表彰はない。	②	①	表彰該当者の情報収集方法の構築	
				◇各種競技大会等の開催・支援 ・各協会主催事業8大会開催 ◇熊本県・玉名郡・長洲町体育協会等の関係団体との連携 ・県民体育祭への郡代表としての選手の派遣等	②	①	各種目協会の活性化や充実 (にこにこクラブとの協力関係が必須)	
	(4) 各種スポーツ団体及び近隣市町との連携	町内各種スポーツ団体等への支援	だれもが気軽に参加できるスポーツ団体やクラブの育成・活動充実に向けて、既存のスポーツ団体の自主的・自発的な活動を支援し、スポーツ団体活動の活性化を図ります。また、住民の多様化するスポーツニーズによる新しいスポーツやサークル活動に対して、その取り組みを支援します。地域スポーツの振興のみならず、健康づくりや生きがいづくり、さらには地域コミュニティの形成など様々な役割を担っている長洲町体育協会、NPO法人長洲にこにこクラブ(総合型地域スポーツクラブ)等と連携し、地域住民の生活のなかに新たなスポーツ活動の輪を広げていきます。	長洲町体育協会、NPO法人長洲にこにこクラブ(総合型地域スポーツクラブ)、スポーツ少年団など町内の各種スポーツ団体の活動に対する支援を図ります。	◇町内各種スポーツ団体等への活動支援 ・長洲にこにこクラブ	③	①	・各種目協会の活性化や充実 (にこにこクラブとの協力関係が必須) ・スポーツ少年団への登録? (現在は登録団体は0である)
		町内各種スポーツ団体による交流ネットワークの構築	町内における全町的体制でのスポーツ振興を図るため、スポーツ活動に係わる町内関係団体や個人が、情報を共有し相互に連携・協力した、町スポーツ団体の交流ネットワークづくりを図ります。	◇長洲町スポーツ交流ネットワークづくり ・町スポーツ団体情報交換会開催 【良かった点等】町スポーツ交流ネットワークづくりへ向けスポーツ団体情報交換会の開催(R1.12終了) 【反省点等】引き続き交換会の開催ができないか、代わりの組織の構築はできないか。	②	③	スポーツ団体情報交換会の開催(R1.12終了) 代わりの組織の構築はできないか。	
	他市町との連携		今後ますます少子高齢化が進むなか、国・県が進めるスポーツ推進策のもと、近隣の市町との共同事業の開催や積極的な情報交換など、広域的な視点でのスポーツ活動の連携を図ります。		④	①	話すらなく、どうなっているかわからない。まずは有明圏域内の他市町の事業等の確認や情報交換から進めることが必要。 (共同開催するしないは別にして)	

## 第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

	第1期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容	達成度	第2期計画での予定	今後の課題	
	事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性					
スポーツ施設の利用促進	(1) 身近なスポーツ活動の場の提供	公民館（介護予防拠点施設）での健康運動の推進	地域の公民館（介護予防拠点施設）や小中学校の体育施設は住民が気軽にストレッチ、軽体操やビーチボールバレー等のスポーツ活動を行うことができる身近なスポーツ施設として日常的に利用されています。このため、これら公民館（介護予防拠点施設）での健康運動の推進や学校体育施設の有効活用	高齢者が地域で元気にいきいきと暮らせるよう、身近な施設である公民館（介護予防拠点施設）で気軽に参加できる、ストレッチ、軽体操等を内容とする健康運動等の取り組みを推進します。  町内小中学校の体育施設は、地域住民の身近なスポーツ施設であり、地域住民が日常的に利用できるスポーツ施設です。このため、小中学校の体育施設の平日（夜間）や土日開放を引き続き小中学校と連携しながら行なっていきます。	◇公民館（介護予防拠点施設）等での健康運動等の推進 ・健康体操教室、元気はつらつ地域学習講座、笑顔ピッチ教室 笑顔グラウンドゴルフ教室、介護予防体操教室、元気アップ教室等 【良かった点等】公民館（介護予防拠点施設）で気軽にできる体操等で高齢者の運動への参加が図られた。 【反省点等】参加されていない人への定期的な周知等が必要	②	①	スポーツに触れる事のない人たちへのアプローチや周知が必要
		学校体育施設の有効活用		◇小中学校の学校体育施設の開放 町内小中学校の体育館平日（夜間）及び土日開放 【良かった点等】運動に触れる機会が増えた。 【反省点等】社会体育で使用する用具等の整備や管理、負担等の認識の統一ができていない。	②	①	学校施設を利用することで住民のスポーツに触れる機会は増えているが学校側と社会体育で使用する用具等の整備や管理、負担等の認識の統一が必要である。	
	(2) スポーツ施設の整備・拡充	スポーツ施設の整備・拡充	スポーツ施設の整備・充実は、住民のスポーツ活動を推進するための基盤として極めて重要です。このため、住民の誰もが、スポーツ施設を安全・快適に利用することができるよう、老朽化した施設の整備・拡充に努めます。また、スポーツ施設の管理運営については、利用者のサービス向上と効率的運営を目指し、民間の有する能力・人材を活用しながら指定管理者とともに取り組みます。	本町における各種スポーツ施設の整備については、スポーツアンケート調査によれば、おおむねできていると考えられます。今後は、老朽化した施設の計画的な改修・整備に取り組み、利用者の方々が安心して快適にスポーツ活動ができるよう施設機能の維持・充実を図ります。	◇関係法令等を遵守した安全な施設の確保 ◇スポーツ施設の適切な維持・管理 ◇各施設の備品、用具等の整備	③	①	・施設の老朽化が進んでおり、計画的な見直し等が必要である。 ・軽微な修理等は指定管理者と協議し、危険度の高いものは、その都度行っている。  ※施設の修繕更新については、町個別施設計画が策定され計画的に行なう。 (緊急及び危険なものについてはその都度)
		指定管理者制度の活用		利用者サービスの向上と管理運営の効率化を目指し、スポーツ施設の管理運営に平成23年10月から指定管理者制度を導入しました。指定管理後、各種スポーツ教室の開催や環境整備に取り組み、体育館、温水プールなどの利用者数は伸びています。引き続きサービス向上や利用者拡大に向け、指定管理者と協力しながら適切な管理運営を図ります。	◇指定管理者による管理運営の推進 各種スポーツ教室の開催や環境整備等が図られ、体育館、室内温水プールの利用者数は伸びている。 【良かった点等】指定管理者とNPO法人長洲にこにこクラブが共同事業となり事業や教室等の充実が図られた。	④	①	今後とも指定管理者と協力し、施設利用者の拡大とサービス向上に取り組み、適切な管理運営を図る。
	(3) 民間のスポーツ施設の利活用	ウォーキングコース（散歩道）の整備		今日、高齢者を中心として健康・体力づくりのため、散歩・ウォーキングを行う住民の姿が各所で見られるようになりました。このため、ウォーキングコース（散歩道）の整備を図ります。住民の各種スポーツ活動の促進を図るために、地元企業や有明広域行政事務組合と連携し、これら所有のグラウンドなど民間のスポーツ施設の利活用を推進します。	◇ウォーキングコース（散歩道）の整備 金魚を活かしたフットパスコースが完成された ・キンギョづきあいコース・カラダ目覚めるコース(各7km) 【良かった点等】健康・体力づくりが図られた。 【反省点等】啓発が必要。コースを利用した大会や教室等の充実	③	①	町民の健康づくりのために周知、啓発が必要であるとともにこのコースを利用したイベント等ができるのか
		民間のスポーツ施設の利活用		◇民間のスポーツ施設の利活用 有明広域の多目的グラウンドや有明サッカー場等での町大会や協会主催行事の開催 【反省点等】一部施設は管理等の問題があり、今後利用状況等も考え使用するかどうか検討が必要である。	②	②	一部施設においては管理等の問題があり、今後、使用実態等も考慮して継続して使用するかどうかの検討が必要である。	

## 第1期長洲町スポーツ推進計画の評価と今後の課題

	第1期長洲町スポーツ推進計画で示されている内容			取り組んだ・取り組んでいる内容 (平成27年度～令和元年度)	達成度 ①達成した ②概ね達成した ③多少取り組んだ ④取り組まなかった	第2期計画 での予定 ①継続する ②継続しない ③検討中	今後の課題
	事業・取り組み・活動の名称	現状と課題	今後の方向性				
スポーツ施設の利用促進  ～3～ スポーツに関する広報、広聴体制の充実	積極的なスポーツ情報の発信・提供	スポーツアンケート調査によれば、スポーツに関する取り組みのなかで不満に思うことのひとつに『情報提供の不足』があげられました。このため、施設利用案内、イベント情報、スポーツ教室・団体紹介など、スポーツに関する各種情報について、町広報やホームページを活用して情報提供を行い、住民の方々のスポーツへの関心を高めていきます。	スポーツに関する情報提供について、町広報やホームページなどを活用し、より積極的なスポーツ情報の提供に努めます。	◇各種広報手段による情報提供の充実 スポーツ情報を町広報をはじめ、HP等を活用した。 ◇地元報道機関や多様なメディアの活用による情報提供 新聞社等へ情報提供を行った。	①	①	今後も各種広報やホームページ等によるスポーツに関する情報提供に努める。
	ホームページのスポーツコーナーの充実		町内で活動するスポーツ団体やサークル等についての活動情報、各種運動教室、町出身アスリートの活躍状況等について、ホームページを利用した魅力ある情報提供に努めます。	◇総合スポーツセンターの利用案内、各種スポーツ教室等に関する情報提供 ◇各種スポーツ大会、運動教室等に関するイベント情報の提供 ◇町内スポーツチーム、サークル等のスポーツ団体に関する情報提供 ◇長洲町体育協会、NPO法人長洲にこにこクラブ(総合型地域スポーツクラブ)等に関する情報提供	①	①	今後も各種広報やホームページ等によるスポーツに関する情報提供に努める。
	住民ニーズの把握		多様化するスポーツニーズに適切に対応し、スポーツ活動への住民参加をより促すため、施設利用者に対するアンケート調査や長洲町体育協会、長洲町スポーツ推進委員等との意見交換等を行い、スポーツ活動に関する住民ニーズの把握に努めます。	◇施設利用者へのアンケート調査等 町(住民アンケート、部活動移行アンケート) NPO法人長洲にこにこクラブ(会員及び指導者アンケート、障害スポーツ、研修会参加者アンケート) 指定管理者(施設利用者アンケート) ◇町体育協会、町スポーツ推進委員等との意見交換等 スポーツ団体情報交換会	②	①	・定期的なアンケートを実施し、多様化するスポーツニーズの把握に努める。 ・スポーツ関係団体との情報交換や意見交換会等を行い利用者のニーズの把握に努める。